

総合開会式

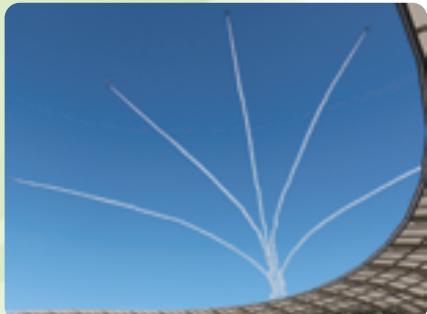
10月1日、カンセキスタジアム（宇都宮市）でいちご一大会とちぎ国体総合開会式が行われました。

本町からは、幸福の科学学園チアダンス部が出演し、笑顔いっぱいの演技でオープニングを盛り上げました。

また、本町の炬火名の命名者渡邊珠希さん（那須中央中1年）は、町代表炬火走者の大役を務めあげました。



▶栃木県の選手団が颯爽と入場しました



▲宙を舞うブルーインパルス



▲幸福の科学学園チアダンス部の皆さん



▲渡邊珠希さん(右から2人目)



▲国体開催直前の9月25日、きれいなコースで選手をお迎えするため、自治会や企業、公民館などの各団体から約280人が参加し、大会コース沿線のゴミ拾いを行いました

クリーンアップ運動

町内小中学生が作製した手作り応援のぼり旗が会場内に飾られ、レース前の張りつめた空気の中、選手たちは子どもたちの想いに笑顔を見せ、レースに臨んでいました。



▲選手ウォーミングアップ場の様子

選手へ届く想い



▲（左から）栃酪那須町酪農組合様、酪とち那須地域酪農組合様、那須野農業協同組合様、お菓子の城那須ハートランド様、那須町建設業安全協議会様から大会を盛り上げるための品々をご協賛いただきました（9/27役場特別会議室）

協賛社・団体感謝状贈呈式



10月7日、彬子女王殿下が那須歴史探訪館を御視察されました。皇室からの恩賜品や明治天皇の行幸の際の資料をご覧になった彬子女王殿下は、学芸員の説明に熱心に耳を傾けられ、絵画のエピソードには優しく微笑まれました。

大会運営にご協力をいただきました競技役員の皆様、ボランティアの皆様、すべての関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。皆様のご理解とご協力により、素晴らしい大会にすることができ、皆様と共にこの大会を開催でき、感動を分かち合えたことをうれしく思います。この感動を後世に語り継ぎ、国体を通してさらに深まつた地域の絆を未来へつないでまいります。

この大会が本町の歴史の新たな1ページとして刻まれ、国体に関わったすべての方々の記憶に残る大会となりました。誠にありがとうございました。



感動を未来へ

いちご一大会とちぎ
国体那須町実行委員会事務局（教育委員会生涯学習課）
国体推進室
那須町長
いちご一大会とちぎ
国体那須町実行委員会会长長

平山 幸宏